



合で展開しようとしている「観光・物産」事業戦略との連携も重視して行く。

4、島の観光・物産振興について、本土の皆さんの意向調査（アンケート）を考

えていたので協力してほしい（重田観光協会会長）。

また、徳之島特産品の目玉の一つ「黒糖酒」の売り上げが最近落ちてきている、との問題提起があった。



写真は10月16日夜、「夢」振代表団9名と島在住のメンバー有志で。

2、「夢」振から復活要望されている「ワイド祭り」については、島の観光開発に役立つイベントの一つになるが、3町協力体制で課題がある。取り敢えずは徳之島町で復活開催をということについては、前向きに検討したい（高岡町長）

「毎春秋に開催される農業祭と結び付けられないかを検討してみたい」

3、天城町の観光戦略は、トライアスロンを活用してさらなる観光関連産業の振興発展を図るが、これに加え

て奄美全体の広域組合で展開しようとしている「観光・物産」事業戦略との連携も重視して行く。

これらの問題には我々も協力することを約束した。

5、伊仙町では、島には観光の目玉がいっぱいあり、うまく企画し工夫すればヤマト、徳之島間の直行便のチャーターは十分に可能である（大久保町長）と航空会社の責任者から聞いた。その実現に向けた検討を全国的に始めたい、実現すれば格安の運賃で観光発展、産業振興にも貢献できる。

6、この一年、徳之島は人口増になってきた。伊仙町は3年連続増加している。住

みやすい島にして、全国の障害者が島へ来て「長寿の島・癒しの島」を体験してもらえるように住宅などの受け入れ体制を作り上げた。

7、徳之島は「闘牛で有名な島」である。これまでは年間3回程度（1月、5月、10月）の開催であったが、今は一年で6回、新しいドームが出来たら月1回開催もできるようになる。徳之島の闘牛は観光の立派な目玉になる。

8、島の観光・物産振興に対する「夢」振の基本的な方針は、島の要望に応える努力をするとともに、協力者として率直なアドバイスを求める緊密な関係を継続的につづけて行くことである。

9、「夢」振がこれまで取り組んできた「フラワーロード運動」も、島の観光・物産振興活動の一つのテーマである。発足以来10年、いまだ100万本には到達していないが、継続は力なりで夢の実現に向けてこれからもつづけて頑張ることを島の皆さんにも約束してきた。

## 徳之島産「たんかん」 申込受付中

（発送予定：2月中旬～3月中旬）

徳之島で育ったたんかんは濃厚な甘みと香りに優れ、糖度も高く甘い果汁が、心ゆくまで味わえます。ビタミンCは、他のみかんの約2倍と豊富で、亜熱帯特産の柑橘として各地でご好評をいただいております。ご贈答に、食後のデザートとしてご賞味下さい。※今年は昨年の台風の影響で、収穫量が大幅減となっており、受注量に限りがございます。



■詳しくは下記まで、お問合わせ下さい。  
徳之島「夢」振興会議  
物産事業 協力先

（株）ユイワーク・サポート TEL 03-5449-8320 FAX 03-5449-0347  
Mail: tokunoshima.bussan@yui-work.net  
http://www.yui-work.net

有機農家30年福留果樹園

代表 福留ケイ子

有機グアバ茶・ビワ茶・有機ニンニク  
パパイヤ等の生産加工販売

〒891-8201  
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙480  
TEL:0997-86-3074 FAX:0997-86-3086  
携帯:090-2393-2068  
Email:fukudome-kajyuen@jasmine.ocn.ne.jp

「夢」振を皆で育てましょう!  
NPO法人徳之島「夢」振興会議

事務局補佐

町田憲孝

（徳之島町井之川出身）

〒257-0056 神奈川県秦野市新町10-27  
TEL/FAX 0463-81-5684  
携帯 090-8050-4897  
Email:hatamach@yahoo.co.jp